

主題：信徒

メッセージ 22

彼らの過去——創造における神の意図、わたしたちの墮落におけるサタンの陰謀、神の約束における神の解決

聖書：創 1:26. 2:7-9. 3:1-7, 15. 12:7-8. 14:18

- I. 創造における神の意図は、わたしたちが神の器、神を入れる器となることです。それは神の栄光のために、神のかたちにおいて、神の神聖な分与によって、神の永遠のエコノミーを遂行するためです。またそれには、わたしたちを神の傑作とするという究極の目標が伴っています——創 1:26. 2:7-9. イザヤ 43:7. II コリント 4:7. ローマ 9:21, 23. エペソ 2:10. 参照、ダニエル 5:23：
- A. 神のかたちはキリストです。それゆえ、人はキリストにしたがって器として創造され、キリストを内容とします。もし、人がキリストを宝として内容としないなら、彼は意識せずに矛盾している人です——コロサイ 1:15. II コリント 4:7. 伝道 1:2, 14。
- B. 人は神の当初の意図のために創造されたので、人は無意識のうちに、すべての諸国民の願いであるキリストを願います——ハガイ 2:7。
- C. なぜなら万物は、キリストの中で（彼のパースンの力の中）、キリストを通して（活動する手段として）、キリストへと（彼の所有のために）創造されたので、また創造された全宇宙はキリストにあってまとまっているので、被造物は、永遠の力と神性の特徴をもったキリストを神の栄光として宣言します——コロサイ 1:16-17. 詩 19:1-2. ローマ 1:20-21, 25. 使徒 14:15-17. 17:23-31。
- D. 人の創造における、神の心の中にある隠された神の定められた御旨は、彼の永遠のエコノミー、永遠のご計画であり、神聖な三一においてご自身を、人の「人性の三一」へと分与することです。それによって、彼の神聖な属性は、彼の永遠の栄光のために、人の人性の美德において表現されます——ヨブ 10:13. エペソ 3:9. I テサロニケ 5:23. 創 2:27. 参照、ヨハネ 20:22. II テモテ 3:16：
1. わたしたちの霊の目的は、神と接触することです——ヨハネ 4:24。
 2. わたしたちの魂の目的は、神を表現することです——II コリント 3:18. ピリピ 1:8. 2:5, 13。
 3. わたしたちの体の目的は、神の栄光を現すことです——I コリント 6:20. ピリピ 1:20. 3:21。
- E. 神、「永遠に住む方」は、人の霊をもって人を創造されました。人は永遠のビジョンとしてのキリストを見、キリストを永遠の命として生き、キリストを永遠のみわざとしての供給します——創 2:7. 箴 20:27. ゼカリヤ 12:1. II テモテ 4:22. I コリント 6:17. エペソ 1:17. 2:22. ローマ 1:9. イザヤ 57:15. 66:2。
1. 良心の機能は、わたしたちが、神は何を義とされ、何を罪定めされるかを、また何が命であって、死であるかを知ることができるようにします——ローマ 2:15. 9:1. ヘブル 9:14. 10:22. 使徒 24:16. II テモテ 1:3。

2. 交わりの機能は、わたしたちが神と接触し、神を礼拝し、神と交流することです——ヨハネ 4:24. エペソ 6:18 前半. ローマ 1:9。
 3. 直覚の機能は、理由や環境に関わらず、神の直接の感覚、神からの直接の知識を持っています——マルコ 2:8. I コリント 2:11. II コリント 2:12-14. ローマ 8:6. 参照、雅歌 7:4。
- F. 神は永遠を人の心の中に置かれました。永遠とは、「神聖で、植えられた、定められた御旨の感覚であり、それは、時代を通して働いており、日の下にあるものではなく、神だけが満足させることができるものです」。——伝道 3:11 (詳訳聖書). 詩 73:25-26 :
1. わたしたちの心は、わたしたちの魂の全ての部分の構成、すなわち、思い、感情、意志 (マタイ 9:4. ヘブル 4:12. 使徒 11:23. ヨハネ 14:1. 16:22)であり、それにわたしたちの霊の一部分、すなわち良心 (ヘブル 10:22. I ヨハネ 3:20)を足したものです。
 2. わたしたちの心の目的は、神の永遠の愛、神の心で満たされることであり、それはわたしたちが神を愛し、神とミングリングされて、合併されるためです——エレミヤ 31:3. マルコ 12:30. ヨハネ 14:23. 参照、サムエル下 9:1-13。
 3. 霊を活用することは、わたしたちの心が活動的であるときにのみ働きます。もし人の心が無感覚であるなら、霊を内側に投獄してしまい、霊の能力を表し出すことができなくさせてしまいます——I ペテロ 3:4. マタイ 5:3, 8. エゼキエル 36:26. 詩篇 78:8. エペソ 3:16-17。
 4. 心とは、命の出入口であり、命の「スイッチ」です。もし心が正しくないなら、霊の中の命は妨げられて、命の法則は自由に働くことができなくなり、妨げなしに、わたしたちの存在の各部分に到達することができなくなってしまいます。命には偉大な力があるのですが、この偉大な力は、わたしたちの小さな心によって支配されます——箴 4:23. マタイ 12:33-37. 参照、エゼキエル 36:26-27。
- II. わたしたちの墮落におけるサタンの陰謀は、わたしたちを駄目にし、わたしたちを横領して、わたしたちの中でご自身の定められた御旨を成就することから神を妨げることです——創3:1-7, 24. I ヨハネ3:8. ヨハネ8:44:**
- A. サタンは女の思いに触れることによって、彼女に近づき、人の思いが神の言葉を疑うようにしました。彼は人の感情をかき立てて、神を嫌わせました。そして彼は人の意志を誘惑して、善悪知識の木を選ばせました。このようにして、サタンは自分の邪悪な考え、感情、意志を人の思い、感情、意志に注入し、人の魂全体を汚染しました。——創 3:1-7。
 - B. 人の墮落の過程において、人は霊を用いて神と接触することに失敗しました。それによって神を回避し、神をわきに置きました。そうではなく、彼は魂を活用し、思いにおいて蛇と議論し、感情において知識の木を願い、意志において決定して、その実を取って食べました——6 節. 参照、II コリント 10:3-5。
 - C. サタンは罪として人の体の中に入って人の肉の中で悪となり (ローマ 5:12. 7:17-18 前半. 21, 23)、人の霊を死なせることによって人を神から除外しました (エペソ 2:1, 5,

12. 4:18)。

Ⅲ. 神の約束における解決とは、彼がキリストの中で女の種として来て、損害を与える蛇の頭を砕くということです——創3: 15:

- A. 女の種とは、肉体と成ったキリスト、全体的な神であって、ご自身を人性の中へと分与することによって完全な人と成られました。それは、サタンを破壊し、キリストにある信徒を罪と死から救うことです——イザヤ 7:14. マタイ 1:20-21, 23. ガラテヤ 4:4. ヘブル 2:14. ヨハネ 12:24. 19:34. I コリント 15:53-57。
- B. 究極的に、女の種は拡大されて勝利を得た信徒たち、すなわち、男の子によって表徴される神の民のさらに強い部分を含みます。指導的な勝利者としての主は、男の子のかしら、中心、命、性質であり、追従する勝利者としての男の子は、主のからだです——啓 12:5-9. 3:21. I コリント 12:12。
- C. 女の団体の種となるため、わたしたちは彼の天のとりなす務めにおいて彼に応答する必要があります——ヘブル 7:25 :
1. アブラハムが神の御前で行なった栄光のとりなしは二人の友の間の人の親密な会話であり、神の心の願いの啓示にしたがった親密な話し合いでした——創 18 章. ローマ 4:12. 歴代志下 20:7. イザヤ 41:8. ヤコブ 2:23. I テモテ 2:1, 8. イザヤ 59:16。
 2. アブラハムが神との甘い交わりを享受したとき、彼からイサクの誕生とソドムの破壊に関して啓示を受けました——創 18:9-22 :
 - a. これは神の意図がキリスト(真のイサク)をわたしたちの中へと造り込み、わたしたちを通して、キリストを生み出し、わたしたちの家庭生活、仕事の生活、クリスチャン生活、召会生活の中で「ソドム」を破壊することであることを示しています——ガラテヤ 1:15-16. 2:20. 4:19. I コリント 5:8. ローマ 5:17。
 - b. わたしたちの神との親密な交わりの中で、わたしたちはすべての不可能なことがキリストには可能となる啓示を受けます——創 18:14. ルカ 18:27。
 3. わたしたちはキリストのとりなす生活にあずかるとき、信心の生活、すなわち、祭壇と「兄弟のために戦う」天幕の生活をします。天幕に住むことは、わたしたちがこの地上で寄留者の生活をしていることを表徴します。——創 12:7-8. 13:3-4. 14:13-18 :
 - a. 祭壇は神の定められた御旨のために、わたしたちであるもの、またわたしたちの持っているものをすべてささげることによって神を礼拝するためのものです——詩 43:4. 84:3. I ペテロ 2:11. ヘブル 11:8-10。
 - b. キリストの天の務めと組み合わせの中にある使徒の務めは「兄弟のために戦う」ことであり、それは聖徒たちのために神と彼のエコノミーにしたがってとりなし、彼らの勝利する供給と享受のために聖徒たちの中へと手順を経た神を供給することによってです—— 7:25. 8:2. ヨハネ 21:15-17。